

高橋節郎《花の星座》1949年 豊田市美術館蔵

2025年1月18日[土] - 5月18日[日]

高橋節郎館リニューアルオープン記念

開館時間 | 午前10時 - 午後5時30分 [入場は午後5時まで]

休館日 | 月曜日 [ただし2/24, 4/28, 5/5は開館]

主催 | 豊田市美術館 共催 | 中日新聞社

特別協力 | 安曇野高橋節郎記念美術館

観覧料 | 一般500円 [400円] / 高校・大学生300円 [200円] / 中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金。障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生、豊田市内在住の18歳以下の方(満18歳から最初の3月31日まで)及び豊田市内在住の満70歳以上の方は無料(要証明)。その他観覧料の減免対象者については当館ウェブサイトをご確認いただくか、豊田市美術館へお問い合わせください。

豊田市美術館
高橋節郎館

高橋節郎展
— 我^が逢^{ほう}人^{じん} —
逢うなり —
われ人に

Takahashi Setsuro Gallery
Reopening Exhibition



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

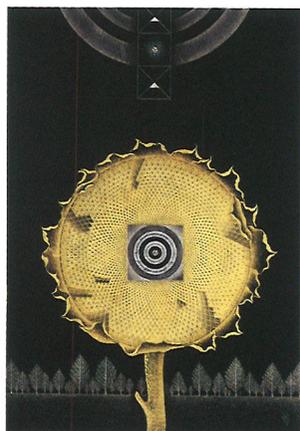
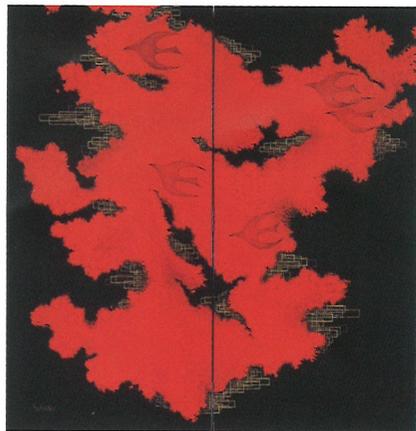
高橋節郎館リニューアルオープン記念

高橋節郎展 — 我逢人 われ人に逢うなり —

漆芸家・高橋節郎(1914-2007年)の芸術を紹介する豊田市美術館 高橋節郎館は、1995年に開館しました。このたび、約1年かけて改修工事を行い、開館30年という節目の年にあたる2025年1月にリニューアルオープンします。装いも新たとなる高橋節郎館の最初の展覧会では、高橋節郎の「人」と「作品」をあらためて紹介するとともに、彼の芸術性に影響を与えた人々にも焦点を当てます。

父・太一と親交があり、節郎の東京美術学校進学を後押しした日本画家・結城素明、恩師である松田権六や山崎覚太郎。アトリエを訪問し親交を深めた洋画家の藤田嗣治や熊谷守一、古賀春江からは芸術家としての姿勢を学びました。また、若い頃に斎藤義重や吉原治良の前衛絵画に衝撃を受けたエピソードは、彼のあくなき探求心を物語っています。

「我逢人(われひとにあうなり)」は、出逢いから新たなものが生まれることの尊さを説いた禅語です。本展では、人との出会いや縁を大切に育み、美術と工芸の枠を越えて自らの芸術の糧とした高橋節郎という芸術家をこの言葉で言い表し、作品約50点に書簡や資料を交え展観します。



左から：高橋節郎《蜃気楼「空中都市」》1961年 豊田市美術館蔵、高橋節郎《標》1978年 豊田市美術館蔵
山崎覚太郎《軍鶏》1964年 高岡市美術館蔵、松田権六《蒔絵箱「赤とんぼ」》1969年 京都国立近代美術館蔵
古賀春江《夏山》1927年 愛知県美術館蔵

豊田市美術館 高橋節郎館

同時開催

しないでおく、こと。— 芸術と生のアナキズム — 2月16日[日]

玉山拓郎:FLOOR 1月18日[土]-5月18日[日]

新収蔵品を中心に 求心力・遠心力
— 90年代以降の〈日本・美術〉 1月18日[土]-2月16日[日]

関連事業 (いずれも応募方法等は美術館ウェブサイトです) 随時お知らせします)

講演会「高橋節郎の漆パネル」

2月2日[日] 午後2時-

※先着順(本展もしくは同時開催の企画展の観覧券が必要です)

講師 | 在田有里子(金沢美術工芸大学非常勤講師)

会場 | 豊田市美術館 講堂

漆実技講座「櫨のお皿に拭漆」(仮)

3月16日[日] ①午前10時30分- ②午後2時30分-

※要参加費、事前申込制

講師 | 笹井史恵(京都市立芸術大学教授)

会場 | 高橋節郎館ワークショップルーム

キラキラ☆ツアー

学芸員と一緒に高橋節郎作品をペンライトで照らし、金や貝を使った繊細な技法を間近で見るとツアーです

3月1日[土]、3月20日[木・祝]、4月5日[土]

午前10時15分-11時 定員5組10名 ※事前申込制

担当学芸員によるギャラリートーク

2月24日[月]、3月9日[日]、4月12日[土] 午前10時15分-

関連施設情報

豊田市博物館

豊田市小坂本町5-80



豊田市民芸館

豊田市平戸橋町波岩86-100



問合せ先

豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

Tel: 0565-34-6610 Fax: 0565-36-5103

Email: bijutsukan@city.toyota.aichi.jp



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館